

米国における冷間圧造用鋼線の製造・販売会社（NSCI）の開業式の開催について

新日鐵住金株式会社（以下、新日鐵住金）は、2016年2月に米国における冷間圧造用鋼線の製造・販売会社である NIPPON STEEL & SUMIKIN COLD HEADING WIRE INDIANA INC.（以下、NSCI）を設立し、2018年4月より営業運転を開始しております。NSCIは、このたび現地時間7月18日にインディアナ州知事をはじめとする行政関係者、在シカゴ日本総領事、お客様、出資関係者、従業員家族を招待し、開業式を執り行いました。



（開業式の様子）

主催者である NSCI 木村社長より、ご臨席の皆様への御礼に加え、北米における新日鐵住金グループの線材二次加工拠点として、お客様のあらゆるご要望にお応えしていくとともに、地域経済の発展にも貢献していきたいと挨拶致しました。

新日鐵住金は、タイ、中国に続き海外3拠点目の線材二次加工拠点を設けたことで、グローバルに伸長する特殊鋼需要をきめ細かく捕捉して参ります。NSCIは36千トンの生産能力を持ち、最大40mmまでの鋼線が製造可能です。日系自動車・部品メーカー等主要なお客様の生産拠点に近い立地を活かし、高いデリバリー能力を発揮して参ります。

熱間圧延線材に二次加工（酸洗・皮膜、伸線、熱処理等）を行って生産される、冷間圧造用鋼線^(注)の主な用途は自動車用ボルト等の重要保安部品であることから、材質・表面疵等の品質は極めて高い水準が求められます。これに応える為に新日鉄住金及び NSCI は連携して線材・二次加工一貫での厳格な品質管理を行っております。

また、NSCI は、新日鉄住金の棒線事業ブランド SteelLinC[®]（スティーリンク）の旗印の下、鉄の可能性を極限まで追求した商品メニュー（高強度ボルト用鋼（MB シリーズ・ADS シリーズ）や工程省略鋼（新軟質線材、冷間鍛造用非調質鋼（NHF[®]・SUC80D））等）を活用し、鋼材と工法との組み合わせの最適なソリューションをご提案することにより、お客様の製品価値向上に貢献して参ります。

(注) SteelLinC ウェブサイト 冷間圧造用鋼線の商品ページ

http://www.nssmc.com/steelinC/product/xsteelia/cold_heading.html

【NSCI の概要】

名 称 : NIPPON STEEL & SUMIKIN COLD HEADING WIRE INDIANA INC. (略称 : NSCI)
所在地 : インディアナ州シェルビービル
事業内容 : 冷間圧造用鋼線の製造・販売
資本金 : 2,400 万 US\$
社長 : 木村 英興
出資比率 : 新日鉄住金株式会社 42%、松菱金属工業株式会社 5%、日鉄住金精鋼株式会社 5%、
宮崎精鋼株式会社 5%、株式会社サンユウ 1%、豊田通商株式会社 12%、
日鉄住金物産株式会社 10%、株式会社メタルワン 10%、住友商事株式会社 10%
生産設備 : 酸洗・皮膜ライン 1 基、伸線機 4 基、熱処理炉 2 基
生産能力 : 36 千ト/年

(製品に関するお問い合わせ)
(プレスリリースに関するお問い合わせ)

棒線事業部代表 TEL : 03-6867-5512
総務部広報センター TEL : 03-6867-3419

以上

